



Let's Play Indiaca

Japan
Indiaca
Association

発行所 日本インディアカ協会
〒151 東京都渋谷区「ユ」54-25-2
邦楽団会館
(財) 日本レクリエーション協会内
☎ 03 (423) 1 2 4 1

大会開催マニュアル作成！ 今こそ、新しいスポーツ大会を開こう

日本インディアカ協会では、「インディアカ普及3ヶ年計画」の一環としてこのたび「インディアカ大会開催マニュアル」を出版する。インディアカの普及に取り組んで10数年が経過し、会員、指導者（指導審判員、普及審判員）は6千名を数え、大会も各レベルで活発に開催されている。また、クラブやチームも多数誕生してきており、その日機、目的も多様になっている。

インディアカは、競争や競技による勝敗・優秀を決めるスポーツの考え方からインディアカを通してより多くの仲間と交流し心のつながりを育てる新しいスポーツの象徴的存在へと育てて行きたいとのねらいがある。

しかしながら、全国のインディアカ仲間の中には、交流や親睦、楽しい健康づくりなどのためになど、レクリエーションとして活動を展開しているグループもあれば、技術の向上、大会の優勝を目指すなど競技中心に活動しているグループもある。これは個々の指導者の考えによる所が大きいと思われるが各種大会のあり方にも大きく影響されている。そこでインディアカを本当の意

味の市民スポーツ・生涯スポーツとして育成する意味からも、各種大会のあり方を考え直し、勝敗へのこだわりや勝利至上主義から脱皮した大会のあり方を提案したい。大会が日頃の活動を活性化させ、多くの仲間と交流する機会として、心のより所として重要な意味をもっていることを確認していきたい。マニュアルは、日本インディアカ協会の常任理事である井出和夫氏により中野区で長い間実践している経験をもとにまとめた。

マニユアルの主な内容は次の通り。

◎大会開催のねらい……大会の基本的考え方すなわち競技志向から交流志向へ。スポーツを心から楽しみ、競技以外のプログラムの重要性を認識する。

◎さまざまな大会とそのあり方……10年の歴史をもつ大会、初めて開かれる大会、全国大会から市区町村大会まで対象、地域、技術レベルなどさまざまなものがあり、目標やあり方もそれぞれ異なっている。各レベルにおいての考え方、あり方を示している。

その他、大会の準備から運営まで事例を挙げて解説されている。クラス分け、競技形式、会場、

必要な用具、昼休みプログラムなど具体的な開催方法も網羅されている。

また、新しい試みとして、各項目ごとに、「チェック表」を設けており、これを見ながら準備・運営をすすめれば大会が円滑かつ充実して実施できるように考えられている。

第1回全国スポーツ・レクリエーション祭が11月13日(日)～16日(水) 山梨県甲府市を中心に開かれた。開会式・特別行事・種目別大会(14種目)と多彩な内容だった。この大会は、文部省が競技スポーツに対する生涯スポーツ促進のための象徴的な全国レベルのイベントとして開くもので、開会式には浩宮徳仁殿下がご臨席され、花火、スカイダイバーの演技、武田信玄など騎馬隊が登場し、小瀬スポーツセンター陸上競技場を埋めた観衆を魅了した。

第1回全国スポーツ・レクリエーション祭が11月13日(日)～16日(水) 山梨県甲府市を中心に開かれた。開会式・特別行事・種目別大会(14種目)と多彩な内容だった。この大会は、文部省が競技スポーツに対する生涯スポーツ促進のための象徴的な全国レベルのイベントとして開くもので、開会式には浩宮徳仁殿下がご臨席され、花火、スカイダイバーの演技、武田信玄など騎馬隊が登場し、小瀬スポーツセンター陸上競技場を埋めた観衆を魅了した。

第2回スポ・レク祭では正式種目へ

第1回スポレク祭は、紹介種目

日中平和友好条約締結10周年を記念して日本レクリエーション協会ほか4団体の共催で、日本代表団約二百名と北京市民二百名による文化交流が実施された。

この交流事業の中で、10月23日(日)全体交流会の後、北京市郊外の先農段体育館において、レクリエーション指導者を中心とする20名の日本代表と北京市の高級中学生(高校生)30名による、歌、

踊り、インディアカなどの交流がもたれた。特にインディアカについては、ルール等理解が早く、基本技術もすぐマスターしてしまい、交流試合も盛りあがった。

として行われたが、次回第2回大会(愛媛県松山市を中心、64年11月開催)で正式種目になることが内定しており、県ではその準備に入っている。

レクリエーション協会・レク指導者を通して普及してきたインディアカが、このスポ・レク祭を契機にして社会体育関係者をはじめ幅広い層の人たちに広がることを期待できる。一方、インディアカ普及の立場からは、県レベル市区町村レベルのインディアカ協会の設立と充実発展に向けて努力する必要があると高まっている。

第2回スポ・レク祭へ向けて、近隣県はもとより、全国のインディアカ協会会員の活躍が期待される。

交流後体育館の先生を通して用具を寄贈し、学校で練習をしていた。午後4時30分、30名の男女高校生に見送られ体育館を後にした。

朋友再見。

インディアカ指導審判員一覽

順不同
敬称略

▼一九八八年六月二十七日～九月三十日取得

☆大阪府

佐藤 隆一 大阪府立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭

☆奈良県

山本 隆夫 奈良県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 奈良県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 奈良県立第一高等学校教諭

☆山口県

山本 隆夫 山口県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 山口県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 山口県立第一高等学校教諭

☆香川県

山本 隆夫 香川県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 香川県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 香川県立第一高等学校教諭

☆福岡県

山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭

☆長崎県

山本 隆夫 長崎県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 長崎県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 長崎県立第一高等学校教諭

☆大分県

山本 隆夫 大分県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大分県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大分県立第一高等学校教諭

☆埼玉玉県

山本 隆夫 埼玉玉県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 埼玉玉県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 埼玉玉県立第一高等学校教諭

インディアカ普及審判員一覽

順不同
敬称略

▼一九八七年十一月九日～一九八八年九月三十日までの取得者

☆北海道

山本 隆夫 北海道立第一高等学校教諭
山本 隆夫 北海道立第一高等学校教諭
山本 隆夫 北海道立第一高等学校教諭

☆東京都

山本 隆夫 東京都立第一高等学校教諭
山本 隆夫 東京都立第一高等学校教諭
山本 隆夫 東京都立第一高等学校教諭

☆三重県

山本 隆夫 三重県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 三重県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 三重県立第一高等学校教諭

☆大阪府

山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭

☆福岡県

山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭

☆神奈川県

山本 隆夫 神奈川県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 神奈川県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 神奈川県立第一高等学校教諭

☆愛知県

山本 隆夫 愛知県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 愛知県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 愛知県立第一高等学校教諭

☆三重県

山本 隆夫 三重県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 三重県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 三重県立第一高等学校教諭

☆大阪府

山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大阪府立第一高等学校教諭

☆愛媛県

山本 隆夫 愛媛県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 愛媛県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 愛媛県立第一高等学校教諭

☆香川県

山本 隆夫 香川県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 香川県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 香川県立第一高等学校教諭

☆長崎県

山本 隆夫 長崎県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 長崎県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 長崎県立第一高等学校教諭

☆大分県

山本 隆夫 大分県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大分県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 大分県立第一高等学校教諭

☆福岡県

山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭
山本 隆夫 福岡県立第一高等学校教諭

大城幸江 嘉数光則 宮城範 大嶺静子 呉屋末子 仲村和河子

全国のインディアカ協会
(一九八八年二月二十日現在)

☆函館 042 函館市柏木町5-35
(Tel 0138-5413852)

☆青森県 031 八戸市石堂1-26
24 伊藤方 レク研修センター
(Tel 0178-2004283)

☆岩手県 029 08 東磐井郡千厩町子殿字北方89-11 畠山方 (Tel 019-1152-2667)

☆秋田県 010 秋田市川尻新川町9-32 加藤方 (Tel 0188-2311929)

☆山形県 090 23 山形市蔵王飯田637 山形厚生年金休暇センター (Tel 0236-321621)

☆宮城県 0983 仙台市岩切字入山1

83-240 佐藤方 (Tel 022-255-6719)

☆茨城県 030 水戸市新原2-11 茨城県武道館内 県レク協会内 (Tel 0292-5315322)

☆埼玉県 0336 浦和市大谷場2-5-26 鈴木方 (048-882-1612)

☆中野区 065 中野区野方2-50-1 黒岩方 (Tel 03-386

9585)

☆八王子市 0192 八王子市八幡町11-12 繊維貿易館3F 八王子レク協会内 (Tel 0426-2518009)

☆酒々井町 0285 印旛郡酒々井町中央台4-11 酒々井町教委社教課 (Tel 0434-961171)

☆小田原市 0256 小田原市酒匂4-11-12 間中方 (Tel 0465

47-3893)

☆御殿場市 0412 御殿場市御殿場544-2 (Tel 0550-8213062)

☆岐阜県 0501 31 岐阜市芥見南山1-22-3 (Tel 0582-4313702)

☆愛知県 047 半田市花園町6-7-4 伊藤方 (Tel 0569-2312244)

☆滋賀県 0521 02 坂田郡山東町大字間田640 松田方 (Tel 0749-5511616)

☆大阪府 0556 大阪府浪速区難波中3-4-36 大阪府立体育館内 財大阪府レク協会内 (Tel 06-634-1702)

☆山口県 0755 宇部市東横返1-2-135-1 久保田方 (Tel 0836-13410739)

☆多度津町 0764 仲多度郡多度津町栄町3-1 多度津町教委社体係内 (Tel 0877-3310701)

☆高松市 0760 高松市番町1-8-5 高松市教委市民スポーツ課内 (Tel 0878-3912626)

☆福岡市 0812 福岡市中央区天神1-8-11 福岡市教育委員会社会教育課 福岡レク協会 (Tel 092-71114799-09269110161)

☆北九州市 0804 北九州市戸畑区千防1-1-25 北九州市福祉文化センター4F 北九州レク協会内 (Tel 093-8821481)

☆長崎県 0850 長崎市末石町446 山口方 (Tel 0958-7816695)

☆延岡市 0882 延岡市野田町52 77-2 岸田方 (Tel 0982

13311698)

☆沖縄県 0904 02 石川市宇石川3491-2 石川少年自然の家内 (Tel 0989-6413263)

88九州ブロック大会

来年全国大会へ向けて

11月20日(日)、福岡市立博多体育館と福岡市立那珂小学校体育館の2会場で54チームが参加し熱戦が展開された。

来年の全国インディアカ大会(福岡市)をにらんでの大会として、参加地域を配慮しながら開催した。審判員の経験不足によるトラブルや技術レベルの差などがやや目立った。審判技術の向上、大会運営、競技方法など改善しなければならぬ点も確認された。

こんな吹笛の 使い方はどうでしょう(提案)

インディアカ大会も活発に開催されてきました。全国インディアカ大会をはじめ、ブロック大会も四国を除いて5ブロックで開催されるなど各県レベルで

の大会も数多く開催されています。当然のことながら技術水準も高くなり、審判技術も高いものが要求されてまいりました。特

インディアカ審判時の吹笛の使い方(提案)

— (短かく2回吹く)



ダブル ワン・タッチ タッチ・ネット

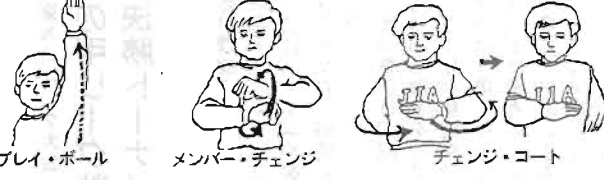


スクリーン サービスの5秒経過 オーバー・ネット



ホールディング オーバー・タイムス ダブル・ファウル

— (短かく1回, 長く1回吹く)



プレイ・ボール メンバー・チェンジ チェンジ・コート

— (短かく2回, 長く1回吹く)



タイム・アウト セット及びゲームの終了 アン・タッチ

— (長く1回吹く)



ポイントおよびサイド・アウト

— (短かく1回吹く)



アウト・オブ・バウンズ グッド

74チームが熱戦

第9回を迎えた大阪インディアカ大会は、5月29日(日)、府立臨海スポーツセンターにおいて男子5チーム、女子47チーム、混合22チーム、合計で74チームが参加。A、Bまでの8コートに分かれて熱戦をくり広げた。

トーナメント方式でのしを削る

10月30日(日)、大宮市体育館で開かれた。一般男子5チーム、シニア女子チーム、男女混合20チーム、一般女子30チームが参加。

各クラスごとのトーナメント方式で互いにしのぎを削った。

第11回全国大会

北海道で初の全国大会

今大会開催にあたり昨年6月に公認審判員認定講習会を開催し審判員の確保から始まり、10月には北海道で初めての「函館インディアカ協会」を設立し今大会への基礎をつくり、チームづくりをすすめ今大会を迎えた。

道内チームにとっては初の公式試合。道外チームの試合を見た瞬間「すごい!!」の連呼。全国の精鋭の試合を見た道内チームは「我々もやるぞ!!」の意気込みをいだき試合にのぞんだ。試合は、いずれも白熱した試合が続出した。熱戦の続出で昼食時間をおしんで試合を展開した。

オール・ジャパンレディス

多度津大会

交流型の大会で大成功

瀬戸大橋開通を記念して8月6日(土)・7日(日)に多度津町



立体育館で全国の精鋭チームによって熱戦が展開された。多度津駅に降りた途端、大会の大きな看板、町役場にもという具合で町をあげての取り組みに大成功が裏づけされた。

18時からにはじまった「観迎レセプション」も心温まるもので市民スポーツの重要な側面である全国の仲間と交流し情報交換が活発になされ、友情を深め、姉妹クラブの約束がかわされるなど前例のない盛り上がりがあった。改めて、大会の中にこのような交流の場を設ける必要性を痛感した。

レセプション終了後は「たどつまつり・花火大会」に参加し、楽しく意義深い初日を過ごした。

2日目は競技大会で朝8時30分から開会式が始められ、大会々々長川村皓章(日本協会々々長)が挨拶し、8コートに分かれ競技が展開された。昼食は全員に名物さめきうどんが、そして昼休みに郷土芸能の披露で観迎され、熱い戦いの中にも心の通い合いを感じた。

関東ブロック大会

初心者からベテランまで幅広く参加

11月26日(土)、27日(日)の両日関東地区(一都七県)の精鋭72チーム参加のもと横浜市金沢スポーツセンターで開かれた。26日の開会式には川村皓章会長が挨拶し優勝杯の返還等セレモニーの後、競技が開始された。

会場が横浜市ということもあって、地元への参加が多く、初心者からベテランまで多彩な顔ぶれであ

った。

東海ブロック大会

亀の甲リーグ戦

十決勝トーナメント

東海ブロック大会は、7月3日愛知県豊橋市体育館において、女子の部30チーム、混合の部27チームの合計57チームが参加して、熱戦をくり広げ、同時に友情の輪を広げた。

今年の特色は、同一チームの分散化。同じ練習をしている仲間が敵味方になり熱戦をくりひろげた。試合は、亀の甲リーグ戦で、コートごとに優秀チームを決め、コート優秀チームによる決勝トーナメントで行なわれた。最低でも、2回は試合ができる方式だが、「もっとうるうるなチームと楽しみたい」との声もあり、定着している愛知方式の運営方法を検討することになった。

次回回、岐阜県で行なうことを決めて、再会を誓いあってそれぞれの地へ散っていった。

また、オールジャパンレディス大会を新しくオープンする豊橋市総合体育館で行なえるよう、関係先へ働きかけることも決めた。



普及審判員認定講習会

(期日、会場、問い合わせ先)

●安城市インディアカ普及審判員認定講習会 64年1月15日(回)午前9:00～午後5:30 / 安城市体育館 / 4千円。受験料3千500円。愛

知県インディアカ連絡協議会伊藤昭治0569-2312244
●昭和63年度インディアカ普及審判員認定講習会 64年1月28日午前9:00～午後6:00 / 中野区勤労福祉会館 / 2千円、受験料5千円 / 中野インディアカ協会(細川)03-3861-3326

●インディアカ普及審判員認定講習会 64年2月18日(回)午前12:00～午後1:30 / 山形市南都体育館 / 山形県インディアカ協会 結城晋太郎0236-4313759

われらインディアカ仲間

インディアカ大好き人間集団

⑦愛知県半田市・一番星インディアカクラブ
一番星インディアカクラブは、昭和60年、社内大会だけでは物足りない、毎日でもやりたいという日本碍子(株)インディアカ大好き人間の集りで行なわれました。ただし、社内だけでなく、一般の人にも広く入部してもらえようように明記してあります。そのおかげで、夫

婦いっしょに参加できて感謝しています。会費は入会金三千円、年会費五百円です。

当初、大会に出かけると「一番星」の名前を見て運送関係のみなさんですかと問われました。黄昏に輝く一番星のように、キラメクようなクラブにしたいとの願いを込めて名付けました。

メンバーは約30名。女性は18～19歳の若い社員と男性社員の奥さん方。男性は20代後半から30代前半までです。練習は毎月2回、主に土曜日午前中、練習方法は、一時間半はネットプレー・レシーブ等の基礎練習、残りの時間は、男子・女子・混合チームを編成して、試合形式の練習となります。

大会の前には、参加種目ごとにチーム編成をしての練習となり、時には、男女チーム対女子チームという対戦練習もあり、そんな時は、男女の区別なく厳しい言葉が飛びかうこともあります。しかし、目の覚めるようなアタック、ファ



インプレー等が出ると練習も中断して拍手「スゴイヤ」と、誉め称える言葉も決して忘れることのない様に心掛けています。そして診プレーには、涙の出るほどの笑いも欠かしません。

定期練習以外に、年末の合宿、年1、2回の交流会を行なっています。交流会は、ただ試合をするだけではなく、技術的内容も話し、実践できる雰囲気を持てるように他のクラブの方々と協力して行なっています。

部員の年令が若いこともあって、夏は海へ、冬はスキー、他の季節は飲み食い会を開き、インディアカ以外にも親睦を深めています。その成果が出た訳ではないでしょうが、クラブの中からカップルがゴールインすることになって、喜びもひとしおです。

とにかく、インディアカが好き、旅が好き、飲みます、食べます、騒ぎますの仲間が揃っています。これからも機会があれば、全国に出発しますので、見かけましたら、ぜひ、声をかけて下さい。(一番星インディアカクラブ 小田敏夫) 連絡先 半田市花園町 伊藤昭治